





# 基本研修

教員の使命と職責の重要性を踏まえ、教員が絶えず研究と修養に励む機会を提供するとともに、その職責の遂行に努めることができる資質・能力の向上を図ります。

## 《令和5年度基本研修(体育研究所関係分)》

小学校 ○小・義務教育・特別支援学校 若年教員研修1年目

中学校 ○中・義務教育・特別支援学校 若年教員研修1年目

○中・義務教育・特別支援学校 中堅教諭等資質向上研修

高等学校 ○県立学校等若年教員研修会1年目

○県立学校等若年教員研修会2年目

○県立学校等若年教員研修会3年目

○県立学校等中堅教諭等資質向上研修会

養護教諭 ○若年教員研修(養護教諭)1年目

○若年教員研修(養護教諭)2年目

○若年教員研修(養護教諭)3年目

○中堅教諭等資質向上研修(養護教諭)

新任保健主事 ○小・中・義務教育・特別支援学校 新任保健主事研修

## 【受講者の感想】

低、中、高学年それぞれの指導法を学びました。コロナ禍で水泳授業がなかったため、子どもの実態に合わせ、苦手意識を持たせず、楽しいと思える授業を考えていきます。(若1研修・小学校)

心肺蘇生法とAEDの使用法を学んだ。実技を行ったのは初めてで良い経験になりました。適切な手順で行うこと、絶え間なく心肺蘇生を続けることが重要であることを理解しました。(若1研修・中学校)

授業の中で共生の視点を考慮したり、男女共習を原則として授業づくりをすることを学びました。生徒の実態に応じて授業改善や工夫をしていきます。(中堅研修・高等学校)

児童生徒の心身の保持増進のために、養護教諭として学び続ける姿勢を持ち、知識・技術の習得だけでなく、コーディネート力やマネジメント力等も磨いていく必要を痛感しました。(若3研修・養護教諭)



小・義務教育・特別支援学校 若年教員研修1年目



県立学校等若年教員研修会1年目



県立学校等中堅教諭等資質向上研修会



若年教員研修(養護教諭)1年目



中堅教諭等資質向上研修(養護教諭)



新任保健主事研修

# 短期研修

体育・保健体育、スポーツ、健康教育に関する講義及び演習・実技の研修を行い、学習指導の工夫・改善や実践的指導力の向上を図ります。

## 《令和5年度 専門研修(短期研修)講座》

対象	講座名	期日	講師
幼・小・特	「運動的な遊び・運動遊び」	6.30	岐阜大学 教授 春日 晃章
小・中・特	「表現運動・ダンス」	7.4	筑波大学 准教授 寺山 由美
小・中・特	「器械運動」	7.6	宮崎大学 教授 三輪 佳兒
小・中・特	「保健の授業づくり」	7.7	東海大学 教授 森 良一
小・特	「体づくり運動」	7.12	筑波大学 准教授 三田部 勇
小・特	「体育の授業づくり(理論・実技)」	7.26	帝京大学 教授 高田 彬成
養護教諭	「新しい時代にむけた養護教諭の役割」	7.28	愛知教育大学 名誉教授 後藤 ひとみ
中・高・特	「陸上競技」	8.2	国士舘大学 講師 陳 洋明
小・中・高・特	「特別支援学校・学級でも活用したい体育の授業づくり」	8.3	東海大学 教授 内田 匡輔
小・中・高・特	「共生の視点に立った体育学習の進め方」	8.4	横浜国立大学 教授 梅澤 秋久
小・特	「体育の授業づくり(実技)」	8.24	国士舘大学 教授 細越 淳二
小・特	「ゲーム・ボール運動(ネット型・ベースボール型)」	8.25	立命館大学 教授 大友 智
小・中・高・特	「健康教育」	9.12	横浜国立大学 教授 物部 博文
中・高・特	「球技の授業づくり」	10.3	日本女子体育大学 准教授 須甲 理生
中・高・特	「スポーツの本質を考える体育理論」	10.4	東海大学 教授 大越 正大
養護教諭	「学校における救急処置」	10.6	まあだ整形外科 博多びざスポーツクリニック 院長 前田 朗 九州大学病院眼科 医師
中・高・特	「体育の授業づくり(中学校公開授業講座)」	10.12	福岡教育大学 教授 本多 壮太郎
小・中・高・特	「体力向上の方策」	10.17	西九州大学 准教授 松本 大輔
小・特	「体育の授業づくり(小学校公開授業講座)」	10.20	日本体育大学 教授 白旗 和也
中・高・特	「体育の授業づくり(理論編)」	10.27	桐蔭横浜大学 教授 佐藤 豊
養護教諭	「養護教諭が行うフィジカルアセスメント」	11.10	岡山大学 教授 松枝 睦美
教職員・一般	「パフォーマンス向上とスポーツ外傷予防のためのコンディショニング」	11.30	国際武道大学 教授 笠原 政志



「体づくり運動」



「学校における救急処置」



「陸上競技」



「体育の授業づくり」(理論編)



「体育の授業づくり」(高等学校公開授業講座)

講座を録画したDVDは貸出できます。(一部講座を除く)  
お電話にてお問合せください。(092-611-0220)

# 断続研修

実践的かつ専門的な内容について年間を通した研修を行い、学校や地域において活躍できる人材を育成します。

## 《令和5年度保健体育研修講座》

豊かなスポーツライフにつながるための授業づくりや授業評価方法の理解についての講義・演習のほか、受講者の主題に基づいた研究構想について検討します。また、運動の楽しさを実感できる授業づくりや授業参観を通じた授業分析の方法や本県の体育・スポーツ行政等を理解する講座を設定します。

回	研修内容
1	・授業研究の進め方、これからの体育科・保健体育科授業の在り方について理解する
2	・新学習指導要領の趣旨、考え方を理解する ・研究構想を明確にする
3	・専門研修(短期研修)講座に参加することで専門的な知識・技能を身に付ける
4	・授業づくりの方法等を理解する ・授業評価(分析)の基礎を理解する
5	・プレゼンテーション作成の方法を学ぶ
7	・授業づくりの方法等を理解する ・検証方法等を理解する
8	
9	・代表授業研修を通して授業分析の力を高め、授業づくりについて考える
10	
11	・本県の体育・スポーツ行政を理解する ・研究発表の方法を理解する
12	・研究発表及び一年間の研修の総括を行い、成果と課題を明らかにする



《保健体育研修講座》

## 《令和5年度養護教諭研修講座》

多様化・複雑化する健康課題の解決に向けた関係機関や家庭、地域との連携・協働のあり方について学ぶとともに、学校保健活動を組織的に推進するマネジメント力を身に付けるための実践的・専門的な研修を設定します。

回	研修内容
1	・養護教諭に求められる役割と健康教育の在り方について理解する
2	・保健教育について理解を深める
3	・保健室経営計画作成の意義について理解を深める
4	・専門研修(短期研修)講座「養護教諭の資質向上」を受講し、専門的な知識・技能を身に付ける
5	・学校組織において求められる養護教諭の役割についての理解を深める
6	・専門研修(短期研修)講座「健康教育」を受講し、専門的な知識・技能を身に付ける
7	・専門研修(短期研修)講座「学校における救急処置」を受講し、専門的な知識・技能を身に付ける
8	・代表授業研修を通し、保健教育の実践について理解を深める
9	・専門研修(短期研修)講座「養護教諭が行うフィジカルアセスメント」を受講し、専門的な知識・技能を身に付ける
10	・事例検討を行うことにより、事例の理解と支援の在り方について理解を深める
11	・健康相談における養護教諭の役割について理解を深める
12	・研究発表及び一年間の研修の総括を行い、成果と課題を明らかにする



《養護教諭研修講座》

# 長期派遣研修

1年間集中して体育・保健体育及び健康教育に関する研究を行い、次世代を担う教員としての資質・能力を高めます。

## 《過去3年間の長期派遣研修員研究テーマ一覧》

年度	研究テーマ	校種	氏名
令和4年度	「運動遊びを楽しむ子供を育てる低学年体育科学学習指導」 ー思考を促す発問を通してー	小	小田 珠樹 (嘉麻市立嘉穂小学校)
	「体育自己効力感を高める保健体育科学学習指導」 ールートマップを活用した学習活動を通してー	中	立石 哲平 (八女市立立花中学校)
	「運動やスポーツとの多様な関わりを实践できる生徒を育てる保健体育科学学習指導」 ー動きを可視化する活動を通してー	高	隈本 真 (福岡県立中間中等学校)
令和3年度	「仲間と関わり合いながら動きを高める第6学年体育科学学習指導」 ー思考と試行を位置付けた学習活動の工夫を通してー	小	井口 清隆 (久留米市立上津小学校)
	「自他の「伸び」を実感できる生徒を育てる保健体育科学学習指導」 ー段階のねらいに応じた対話活動を通してー	中	鈴木 貴大 (大野城市立大利中学校)
	「運動への関わり方を広げることができる生徒を育てる保健体育科学学習指導」 ー目的に応じたupdate sheetの活用を通してー	高	小松 陽子 (福岡県立福岡魁誠高等学校)
令和2年度	「自他の運動の楽しさを大切に子供を育てる高学年体育科学学習指導」 ー学習者相互のフィードバックを位置付けた学習過程の工夫を通してー	小	藤原 大輔 (大野城市立御笠の森小学校)
	「運動する充実感を味わう生徒を育む保健体育科学学習指導」 ー共生の視点を重視した「共有活動」を通してー	中	西崎 健哉 (糸島市立前原中学校)
	「健康について深く考える生徒を育てる保健の学習指導」 ーイメージマップを活用した学習過程を通してー	高	大和 忠輔 (福岡県立北筑高等学校)

## 【1年間の研修を終えて】



体育研究所の長期派遣研修員として、体育科学の専門的知識を数えきれないほど学ばせていただき、大変貴重な1年間となりました。この1年間を通して、次の3つを今後の教員生活で活かしていきたいと考えます。「目標をつかみ計画を立てること」「子供の心で考えること」「先生方と楽しく学ぶこと」。この3つを軸に、今後も体育科学を通して、笑顔溢れる子供を育てたり、たくさん先生の先生方へ専門的知識を伝えたりしていきたいように、終わりに取り組んでいきます。  
嘉麻市立嘉穂小学校 教諭 小田 珠樹



「自分の実践に対する問題意識をもつことが、論文を書くことの第1歩」。4月にこの言葉に胸をつかれ、研究のスタートを切った日を今も鮮明に記憶しています。検証授業では、「教材との出会わせ方」、「めあてに繋がる発問」、「学習評価」などこれまで気付かなかったことをたくさん勉強させていただきました。研修を通して、私自身の教科指導に関する自己効力感を高めることができたことと自負しています。生徒が自信をもって学習に取り組むことができるように、今後とも研究と修養に精進してまいります。  
八女市立立花中学校 教諭 立石 哲平



研究がスタートした当初、これまで授業に真摯に向き合うことができていなかったこと、教師として授業における軸をもつことができていなかったことに気付かされたことをよく覚えています。体育研究所で、多くの研修を受けることで保健体育科学における最先端の学びに触れたこと、小・中学校の長期派遣研修員と共に学ぶことで指導方法や生徒の実態の違いを学び、12年間の系統性の大切さを知れたことが私の財産となりました。今後も学び続けることを止めず、学校現場でその学びを還元していきたいと強く思います。  
福岡県立中間中等学校 教諭 隈本 真